
公募シンポジウム

公募シンポジウム12

歯科診療情報標準化の現在地

2024年11月24日(日) 14:40 ～ 16:40 E会場 (国際会議室501)

[4-E-4-04] 歯科コンピュータメーカーが取り組む歯科診療情報の標準化

*小森 一秀¹ (1. 日本歯科コンピュータ協会)

*kazuhide komori¹ (1. Japan Dental Computer Association)

キーワード : Dental informatics, Dental Computer systems, Standardization

オンライン資格確認や医療扶助など急速に情報共有の基盤が準備されております。

また、電子レセプト、電子カルテ、電子処方箋など紙管理から電子データへの移行も進んでおります。

更に、電子カルテ情報共有サービスなど HL7FHIRをベースとした3文書6情報の管理データベースも構築されつつあります。

その状況の中で、歯科における診療情報標準化の現在の状況と将来展望についてお話しさせていただければと思います。

歯科コンピュータメーカーが取り組む歯科診療情報の標準化

小森 一秀^{*1}

^{*1} 日本歯科コンピュータ協会

Dental computer manufacturers working to standardize dental treatment information

Kazuhide Komori^{*1}

^{*1} Japan Dental Computer Association

The infrastructure for information sharing is rapidly being prepared, including online eligibility verification and medical assistance.

In addition, the transition from paper management to electronic data, such as electronic receipts, electronic medical records, and electronic prescriptions, is also progressing.

Furthermore, a management database for three documents and six pieces of information based on HL7FHIR, such as an electronic medical record information sharing service, is also being built.

Against this background, I would like to talk about the current situation and future prospects for the standardization of medical information in dentistry.

Keywords: Dental informatics, Dental Computer systems, Standardization

1. 緒論

オンライン資格確認や医療扶助など急速に情報共有の基盤が準備されている。

また、電子レセプト、電子カルテなど紙管理から電子データへの移行も進んでいる。

その状況の中で、歯科における診療情報標準化も検討する段階にきていると考える。

現状と将来展望について整理し、今後の歯科診療情報標準化の発展に寄与したい。

2. 各基盤の普及状況と共有内容

各基盤の普及状況と共有されている内容について整理する。

2.1 オンライン請求

オンライン請求は、令和6年5月診療分時点で65.7%と急速に上昇している(図1)が、医科・調剤に比べると少ない状況である。

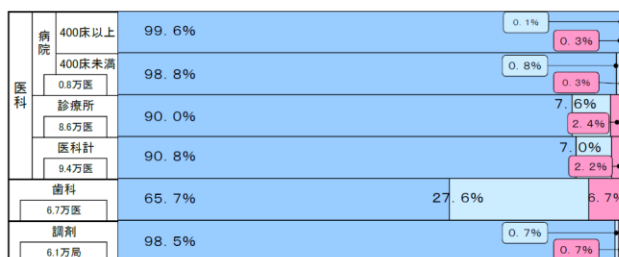


図1 電子レセプト普及率(青色がオンライン請求の利用率)

2.2 オンライン資格確認システム

オンライン資格確認システムは義務化の追い風もあり、令和6年7月時点で6万件以上導入されている。

しかし、マイナ保険証の利用件数は11.3%で患者さんの利用率は低い状況(図2)である。

